

## AED使用上の注意

AEDは音声案内により誤操作がないように工夫されているだけでなく、安全に使用でき、より有効に電流が流せるように様々な配慮がなされています。

しかし次の点につきましては注意してください。

- **必ず傷病者の意識および呼吸の確認をすること**

AEDは音声案内により誤操作がないように工夫されていますが、必ず意識及び呼吸のないことを確認してから使用するようになしてください。

- **傷病者及びその周囲に水などの伝導性物質がないか確認をすること**

傷病者の前胸部が濡れている場合は、電流が体表の水を伝わり他方の電極パッド伝わります。また傷病者の衣服や周囲が濡れていると周囲の人に電流が流れる危険がありますので、乾いた布やタオルで水を拭き取ってください。

- **貼付剤(ニトログリセリンなど)が使用されていないかどうか確認すること**

電極パッドを貼り付ける位置に貼付剤(ニトログリセリンなど)が貼られている場合は剥がして薬剤を拭き取ってから電極パッドを貼り付けてください。

- **心臓ペースメーカーが埋め込まれていないかどうか確認すること**

胸部の皮下に硬いこぶのような出っ張りがある場合は植え込み型のペースメーカーや除細動器が皮下に設置されている可能性があります。電極パッドを出っ張りから2.5cmから3cm程度は離して貼り付けてください。

- **アクセサリーを確認すること**

熱症をおこす可能性がありますので、金属製のアクセサリーはすぐ外せるようであれば外してください。また外しにくいようでしたら金属製のアクセサリーに触れないように注意して電極パッドを貼ってください。

- **電極パッドと傷病者の体表の間に空気を入れないように注意すること**

電極パッドと体表のすきまに空気が入っていると皮膚に熱傷をおこす原因となりますので、必ず密着させるように注意して貼ってください。

- **解析中及び通電の際は傷病者の身体に触れないようにすること**

心電図の解析中は解析の妨害にならないように、通電の際は感電予防のため必ず傷病者から離れてください。